

# 冊 サンフレンズだより

## 第3回市民のつどいを 開催しました

No. 63 2011. 11. 21  
発行：社会福祉法人 サンフレンズ  
編集：法人本部 事務局  
〒167-0023  
杉並区上井草3-33-10  
03-3394-9833



暑さも残る9月25日、「自分らしく生きよう この杉並で」と題し、サンフレンズ上井草で3回目の市民のつどいを開催しました。4月からのSOS事業の実践を元に、「地域のネットワークづくり」の構築と課題とは何かについて検討しました。

開会に際し、実行委員長の若山大地から、どのような課題があるか皆様と共に考え、実りあるつどいにしたいと挨拶がありました。

また、サンフレンズ後援会の青木利元会長から、阪神淡路大震災は「ボランティア元年」と呼ばれましたが、東日本大震災が起きた2011年は「市民社会が強化される年」として記憶されるのではないか、とのお話がありました。

### 第1部 基調講演



#### <理事長大友信勝の基調講演>

「ひとのつながりと恩送り」と題して、理事長の大友信勝が講演を行いました。いざという時に役に立ち、頼りになる社会福祉法人を目指し、今まで地域の実態把握をしてきた。地域のニーズをいかに掘り起こして、どう応えていき、その人らしく安心して暮らしていく土壌をつくっていくが法人の使命である。そして、SOS事業を通じて様々な信頼関係を築き、地域や世代間の交流を図り、暮らしを支えていくことを大切にしていきたいと述べました。また、サンフレンズがここまでこられたのは杉並区と地域住民のおかげ、この恩

を地域住民にお返しをするという「恩送り」の考えに沿って、杉並が良くなるために精一杯やっていきたいという決意表明がなされました。

### 第2部 報告

「困ったときのSOS事業～半年の実践活動から～」と題し、SOS事業のリーダーである小暮久美子から、2007年にケア24から始まった事業立ち上げの動機、現在までの経過報告及び実績と課題について報告がありました。本格スタートをきった2011年4月は7件だった支援件数も8月には51件になった。支援の内容も多岐に渡り、順調に推移しているが、応援隊不足の他、支援時間が予測以上にかかるなど新たな問題が見えてくると述べました。反対に、応援隊との連携がとれ始め、ふれあいサロンにお誘いした地域のお母さん方との繋がりも出てきて、今後のネットワークの基本が見えてきた。様々な方法を模索しながら一步一步着実に進んでいるという話がありました。

### 第3部 パネルディスカッション



#### <パネルディスカッションの様子>

市民・地域団体・行政・実践者の立場から、「ネットワークづくりの現状と課題」についてパネルディスカッションを行いました。

市民の立場から地域のたすけあいネットワークあんしん協力員の澤田俊之さんは、田舎では支え

合いの精神が浸透しているが、都会では難しい。「地域で支え合おう」という賛同者を増やし、支援体制や仕組みを作りたいと話されました。

地域団体の立場として杉並区社会福祉協議会さえあい係長の正木茂さんは、行政が色々なサービスを行うことを当然とした考えがあるが、地域が独自で社会福祉活動を進めていき、できることをできる範囲で長く実践していく方が、地域が活性化し、もっと楽しくなると述べられました。

行政の立場からは杉並区高齢者在宅支援課地域連携推進係長の林田信人さんから、100才以上の杉並区民全員と会えたことと、3月までに75才以上の安否確認を行うとの話があり、今後莫大な情報を持つ警察との連携を作りたい、と話されました。

次に実践者の立場から再度小暮久美子の話があり、最後は、コーディネーターの東京ボランティア・市民活動センターアドバイザーの安藤雄太さんから、色々な所で色々な団体がサービスをつかっていき、それぞれがお互いを尊重しながら、地域の生活を豊かにするために繋がっていくことが必要ではないかと締めくくりました。

## 施設公開を行いました



＜永福ふれあいの家での歌謡ショー＞

今年の「施設公開」は、10月10日から開催した永福ふれあいの家から始まりました。その次が10月30日から公開したサンフレンズ上井草、次いでサンフレンズ善福寺、松ノ木ふれあいの家、和泉ふれあいの家と約1か月に渡り、各事業所で趣向を凝らした施設公開を行いました。和田ふれあいの家は11月21日～26日とこれからの公開となり

## 第4部 ジョイントコンサート



＜明るい歌声で会場が一つになりました＞

第4部は、和泉と上井草ふれあいの家のご利用者による和泉大正乙女楽団と上井草ハーモニックバンドとのジョイントコンサートが行われました。特に日本の元気を祈って全員で合唱した「上を向いて歩こう」は大変盛り上がり、アンコールもあり、会場が一つになったように感じられました。

最後に新しいホームを作る会の会長で、市民のつどい実行副委員長の田寺儉治さんの、第4回で皆さんに会えることを楽しみにしていますとの言葉で閉会しました。

ますので、ご興味のある方は是非お越しください。お待ちしております。

施設公開の前は、ポスターやパンフレットを掲示・配布したり、看板を駅前や施設周辺に立てたり、地域の皆様のご協力をいただきながら職員も準備に力が入りました。

おかげ様で、「ちらしを見たから。」「(杉並区や法人の) 広報を見て。」と、通りがかりに施設見学を訪れた方の他に、わざわざ電話で予約を入れてから来てくださった方も多くいらっしゃいました。

建物内では、ご利用者が一生懸命つくった作品も展示され、訪れた方が「上手ねえ、皆さん器用だわあ。」と感心されていました。

施設公開は、普段このような施設と縁がない方にも、「特別養護老人ホーム・デイサービスという施設はどのような所かな」と「高齢者福祉」に興味を持っていただく良い機会となりました。

そして、今年も多くの関係者や地域の皆様にご協力いただきました。ありがとうございました。

# サンフレンズの職員になろう！！

サンフレンズは、「自分たちの老後を良くしたい」と願う杉並区の市民団体から生まれた法人です。  
 「できるだけ自由に・どこまでも対等に・他者への思いを生かし合う」を理念とし、地域のニーズに根差した事業の運営に努めています。私たちと一緒により良い高齢者福祉を目指す熱意のある方お待ちしてます！

新卒者  
大歓迎！

職 種	資 格	給 与 (基本給)
介護職 看護職	ヘルパー2級以上 看護師	(大学卒) 月給 207,000円～258,000円 (短大卒) 月給 186,500円～243,700円 (高校卒) 月給 168,500円～214,500円

- ※ 基本給は経験により決定します。
- ※ 看護職は資格手当 10,000円 (デイサービス・ケア 24勤務)、又は 20,000円 (特別養護老人ホーム勤務) があります。
- ※ その他、該当者には住宅手当 (8,300円又は8,800円)、扶養手当 (5,500円～) などの手当があります。
- ※ 年間休日日数は120日で平均すると1か月に10日の休みになります。

## 応募方法

事前に提出書類を郵送又は持参してください。

## 提出書類

- ① 履歴書
- ② 課題作文 (800字程度)  
「働く上で大切なこと」  
「5年後の私」
- ③ 資格取得 (見込) 証明書 (写)
- ④ 学校推薦書 (新卒者のみ)
- ⑤ 成績証明書 (新卒者のみ)

## 選考方法

- ① 書類選考 (事前提出書類)
- ② 面接試験

書類提出締切日 (必着) 12月7日 (水)

試験日 12月14日 (水) 午後1時頃から

※人数により時間が前後します

## 面接場所、郵送および問い合わせ先

社会福祉法人サンフレンズ 本部事務局  
〒167-0023 杉並区上井草3-33-10

TEL: 03-3394-1094

FAX: 03-3394-9834

(西武新宿線 上井草南口より徒歩2分)

担当: 河野・中山

## ホームページアドレス:

<http://www.3friends.or.jp>

E-mail アドレス: [jinji-jimu@3friends.or.jp](mailto:jinji-jimu@3friends.or.jp)

サンフレンズでは職員が働きやすい環境づくりに取り組んでいます。職種に関わらず、内部研修や外部研修も充実しています。施設見学も随時受け付けています。非常勤職員も募集中です。



## 法人への寄付金および物品等を賜り、厚く御礼を申しあげます。

2011年9月1日から10月31日までにご寄付をいただいた順に掲載しております。

《寄付金》 杉並区消費者の会様・サンフレンズ応援団様・鈴木定雄様・匿名希望2名

(寄付金のお預かり後、2週間以内に本部事務局より領収書を郵送いたします。届かない場合はお手数ですが、本部事務局までご連絡をお願いいたします。)

《物品等》 松村延樹様・健康体操宮本グループ様・古菅和子様・安藤和子様・中野和代様・武田博子様・山根厚子・江田正様・だんごのたかの様・五十嵐和子様・匿名希望1名

# ボランティア紹介

## 第49回

### 寄り添っていくこと



<左：岡田さん 中：青野さん 右：安川さん>

今回は7年前から上井草園で活動をしている「西荻傾聴の会」を紹介させていただきます。

会員数は10名。それぞれ1回2時間程で月1~2回活動をしていただいています。時間や日にちは決まっていますが、活動の内容はその日によって変わります。「すーっ」と現場に入りその日のご利用者に合わせて話をしたり、一緒に歌ったり、オセロの相手等をしてくれます。挨拶から始まるその空間にはいつの間にか穏やかな時間が流れています。

「大切にしていることは私達が主役になって話をするのではなく、主役であるご利用者に話をさせていただき、その話を心を込めて丁寧に聴かせていただくこと。」という代表の青野さん。その言葉どおり、皆様はいつも丁寧に話を聴いてくださるので、職員が落ち着かないご利用者との話を願います。

皆様の存在は本当に心強く、ご利用者の子ども時代の思い出や、一生懸命取り組んできたこと、今の思いなど、普段職員が聴けない話も引き出し

てくださいます。話をした後のご利用者は笑顔になるだけでなく、すっきりとした、またほっとした表情になったり、嬉しくて泣いてしまうことも多々あります。

また、月に1回、会員の皆様は定例会を開いています。内容は困ったこと等の対応についての意見交換や、研修会に参加した人からの報告、研修で学んだ事例についての勉強会等を行っています。職員も招かれ、質問に答えることもあります。細かい対応の仕方についても皆様真剣に考えていらっしゃるの、皆様と話すことは職員にとっても、とてもよい勉強になります。

今後も温かい気持ちでそっとそばに寄り添って、ご利用者との時間を一緒に過ごしていただけたらと思います。



<自然と表情も和らぎます>

サンフレンズだより・ホームページへのご意見・ご感想をお寄せください

本部事務局 電話 : 03 ( 3394 ) 9833

FAX : 03 ( 3394 ) 9834

担当 : 中山・河野・鳥羽

ホームページアドレス

<http://www.3friends.or.jp>

E-mail アドレス

[kamiigusa@3friends.or.jp](mailto:kamiigusa@3friends.or.jp)